

2013年によく借りられた本ベスト3 ●哲学&心理学・園芸・医療&健康 編●

●哲学&心理学

1位 (13回)
『1日が目に見えてラクになる! 時間整理術!』
池田暁子: 著 メディアファクトリー: 出

2位 (12回)
『乙女の教室』
美輪明宏: 著 集英社: 出
『101歳の金言』
日野原重明: 著 ダイヤモンド社: 出

3位 (11回)
『気を整えて夢をかなえるリセット整理術』
苫米地英人: 著 永岡書店: 出

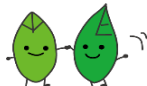


●園芸

1位 (18回)
『有機・無農薬でできるはじめての家庭菜園』
金子美登: 著 成美堂出版: 出

2位 (16回)
『図解でハッキリわかる
落葉樹・常緑樹の製枝と選定』
川原田邦彦: 著 永岡書店: 出

3位 (15回)
『藤田智の菜園スタートBOOK
秋冬&春 準備編』
藤田智: 著 日本放送出版協会: 出



鹿島市民図書館では、所蔵する本や資料を、日本十進分類法に従って、10つのジャンル=「0~9類(るい)」に分類し、本棚に置いています。今回紹介したものとしては、
・哲学&心理学=1類(哲学)
・医療&健康 = 4類(自然科学)
・園芸=6類(産業)
のコーナーにあります。



●医療&健康

1位 (18回)
『医者に殺されない47の心得』
近藤誠: 著 アスコム: 出

2位 (14回)
『50歳になると、35歳に見える人と
65歳に見える人がいるらしい』
タカコ・ナカムラ: 著 主婦の友社: 出

3位 (13回)
『たまねぎ水20倍健康法』
村上祥子: 著 永岡書店: 出



開館カレンダー ぬりつぶし: お休みです

3月							4月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						①			①	②	3	4	⑤
2	3	④	⑤	6	7	⑧	6	7	⑧	9	10	11	⑫
9	10	⑪	12	13	14	⑮	13	14	⑮	⑯	17	18	⑰
16	17	⑱	⑲	20	21	⑳	20	21	⑳	23	24	25	⑳
23	24	⑳	26	27	28	㉑	27	28	㉑	30			
30	31												

開館時間
9:30~19:00
土・日・祝日は17:00まで

- ♪おはなし会 好評開催中♪
- あんころもち (0歳)
火曜 14時~
 - きびだんご (0~3歳)
第1・3水曜14時半~
 - おはなし会 (3歳以上)
土曜14時~

・祝日の3/21(春分の日)・4/29(みどりの日)は開館します。
・4/30は振替休館です。

としかん日記

土の中に眠っている虫たちも、そろそろ目を覚ます頃ですね。春は大きく成長して保育園や幼稚園、学校を旅立って新しい世界へ飛び込んでいく季節。やる気満々のわくわく感と大丈夫かな?という不安で複雑な気持ちの方もきっといらっしゃるでしょう。そんな気持ちを和らげて、前へ進ませてくれる本が図書館にはたくさんあります。本は“元気の源”としてどうぞご利用ください。(O)



みんなで 育てる 楽しい「みんと」

かしましみんとしよかんだより

みんと
第148号

2014年3月

♪WEBサービスのご案内♪

図書館のホームページから本を予約することができます!

有効期限内の利用者カードをお持ちで、WEBサービスのためのパスワードを登録された方は、インターネットで本を予約することができます。パスワードはホームページ上で作成することができます。たいへん便利なサービスです。ぜひご利用ください。

いつでもどこからでも、予約OK

パスワードの登録がよくわからない...

大丈夫!パスワードの登録や予約のやり方を説明します。カウンターへお気軽にどうぞ!

スマホや携帯からも予約OK!

★本の返却を延滞されている方は、予約をお断りする場合があります★

「書店にない良さって何?」

「確かにこのレシピで作ると、簡単に美味しいおかずができたよ。TV番組『料理の鉄人』で一流シェフにも勝ったんだから。」
著者の親戚でもあるかのような口ぶりで、私は館内コーナーを作成中の職員について自慢していました。彼女が作っていたのは「小林カツ代追悼コーナー」。最近亡くなった料理研究家ですが、ご存知でしょうか?料理研究家ケンタロウさんのお母さんでもあります。10年ほど前に病に倒れられ、息子ケンタロウさんも数年前に事故に遭われて、親子とも絶頂期に仕事を退かれたのは本当に残念でした。おふたりの本は今も人気で、図書館ではよく利用されています。

カツ代さんの本を手にとると今時のレシピ本より装幀は地味ですが、その分、添えられたコメントにはエッセイストとしても知られた彼女のセンスが感じられ、楽しく読めます。我が家の定番料理になっているものもあり、あらためて感謝したことでした。そういえば、出版界では絶版や品切れになった料理本を復刊させようという取り組みがあるとか。「料理本は使い込むと汚れるので古書市場に流通しにくい」とか、「母の愛用だった本を買いたいという声がある」というのは納得いきます。うちの台所にも、使い込んだ「小林カツ代料理本」がありますから。

近年、本が絶版になるまでのスピードが速いとよく言われます。膨大な本が出版されIT技術を駆使した流通網でスピーディに出回っていますが、消えてゆくのもまた早いのです。書店で買えないそういう本や雑誌が読める...それが図書館の良さです。もちろん館内の本棚に古い本ばかり並べても魅力はありませんから、時季をみて閉架書庫から取り出し、色々なコーナーを作っています。カウンター前の「書庫コレクション」は月替わり。今月は「は行の作家&すみっことあるけどおもしろい本たち」です。

館内には、他にも20弱のミニ企画コーナーを毎月設けています。幼児からシニア向けまで、テーマは硬軟とりまぜ様々です。来館された折にぜひご覧ください。 図書館長 野崎千代美

今月のみんと

- ★ WEBサービスの案内
- ★ 「書店にない良さって何?」
- ★ 「3・11」関連の本
- ★ 【イベント報告】鈴木まもるさん講演会
- ★ 新着本の紹介
- ★ 2013年によく読まれた本
- ★ 3・4月の開館カレンダー
- ★ 図書館日記

発行 かしま市民立薬修大学
鹿島市民図書館
〒849-1312
佐賀県鹿島市大字納富分2700-1
Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217
ホームページ
http://www.library.city.kashima.saga.jp
<QRコード>
Eメール
kashimal@theia.ocn.ne.jp



★所蔵図書のご案内★東日本大震災から3年。～2013年に出版された震災に関する本～

—あの日を忘れない。そして災害に備えるために—
2013年は、被災地の復興の現状について書かれた本や、国民の関心が高い地震・原発問題・放射能汚染・地域防災について、より具体的な分析や取り組みを紹介する本が出版されました。

- 『本当に役に立つ「汚染地図」』
沢野伸浩：著 集英社：出
- 『子どもと一緒に防災の本』
坂本廣子：著 フォーラム・A：出
- 『いのちのギフト』
日野原重明：著 小学館：出
- 『防災に負けないハンドブック』
堀清和：著 エンタイトル出版：出
- 『賢く美防災』
町田ひろ子：著 ぎょうせい：出
- 『安全な土地』
今村遼平：著 東京書籍：出
- 『自然災害からいのちを守る科学』
川手新一：著 岩波書店：出
- 『日本人は災害からどう復興したか』
渡辺尚志：著 農山漁村文化協会：出
- 『地名は災害を警告する』
遠藤宏之：著 技術評論社：出
- 『死なない！死なせない！大震災から家族を守る！』
三井康壽：著 世界文化社：出
- 『歴史としての東日本大震災』
岩本由輝：著 刀水書房：出
- 『傾聴ボランティア体験記』
ホールファミリーケア協会：編 三省堂：出
- 『原発と活断層』
鈴木康弘：著 岩波書店：出

図書館では、2月末～3月末まで、東日本大震災に関する本の展示を予定しています。



↑当日は、鳥の巣だけではなく、鈴木さんが描いた鳥の巣のスケッチ帳と、それをもとに出来上がった『ぼくの鳥の巣絵日記』を比べて紹介。このほかにも『みんなあかちゃんだった』（写真上。0～3歳の赤ちゃんの日々の行動を描いた絵本）の原案になった、息子さんをスケッチしたノートも見せていただきました。赤ちゃんの何げないしぐさを描きとる思いの深さや、温かいタッチにじ〜んと感激……。こうやって、世代を越えて愛される絵本ができあがるんですね！作家さんの生の声、制作の現場について触れることができた貴重なひとときでした。



↑海外で出会っためずらしい鳥の巣の写真も。会場からは「わあ〜」という歓声が。

鳥の巣博士の人生哲学に酔いしれたひとときでした。

★イベント報告★

鈴木まもるさん講演会

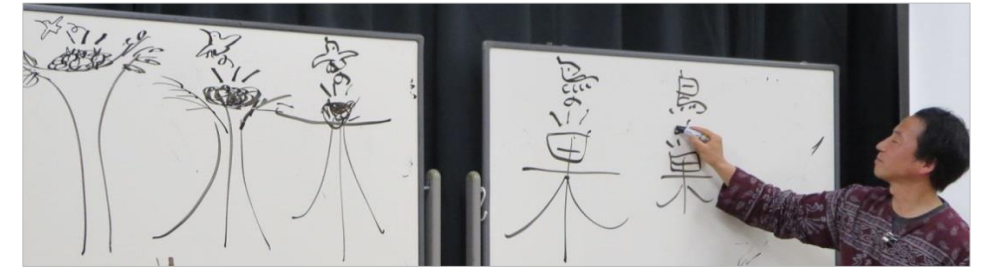
「鳥の巣のふしぎ～鳥の巣が教えてくれること～」



先生の絵本の大ファン！！お話ができてとても楽しい時間でした。

子ひつじの毛でできた巣は、ふわふわ。鳥の赤ちゃんも気持ちいいだろうな…。

1月25日、絵本作家であり鳥の巣研究者でもある鈴木まもるさんの講演会を開催しました。鈴木さんの温かなお人柄に、会場はすっかり和やかに。「自分は、もともと絵本を作っていました、急に鳥の巣に惹かれていきました。なぜかは最初は分からなかったけれど、だんだん気がつきました。絵本は、子どもたちが元気になればいいなと思って一生懸命作っています。巣も、子どもたちがちゃんと育ててほしいと思って作られていて、思いが共通しているんです。」と、1冊の絵本ができるまでの道のりや鳥の巣との出会いについて、お話を聞かせていただきました。



↑会場の子どもを主人公にしたおはなしを即興で作ったり、ホワイトボードにサラサラとイラストを描いたり…。

見たかったツリスガラのお巣をさわれることができてよかった！！

鳥の巣を見つけるたびにスゴいな～不思議だな～と思っていました。わたしも命を大事に暮らしていきたいです。

絵本と鳥の巣はまったく違うものだと思っていましたが、子育てという共通のものがあるというのが本当に不思議で楽しかったです。

楽しかったです。ありがとうございます！！

おまけ スタッフは見た！ 鈴木さんのカバンのヒ・ミ・ツ…。



鳥の巣が入ったカバンとスーツケースには、鳥のイラストが全体に描かれていました！もちろん鈴木さんの手描き。ステキでしたよ〜★

新着本



そのほか、岡田喜秋『旅に生きて八十八年』（エッセイ）、『ジェフ・ベゾス果てなき野望/アマゾンに創った無敵の経営者』（経営）、『嫁姑が幸せになれる100の知恵』（家族関係）など、色々なジャンルの本が入りました。

『天使の子』



小説

小手鞠 るい：著
河出書房新社：出
アメリカ留学中に会ったダニエル。惹かれあう2人だが、彼にはある秘密があった…。ニューヨーク州で実際に起こった出来事をもとにした作品。

『花鳥諷詠(かちょうふうえい)、そして未来』



俳句

稲畑 汀子：著
NHK出版：出
高濱虚子の孫で俳句界の発展に尽くした稲畑さん。虚子の「花鳥諷詠」という言葉を雑誌「ホトトギス」の歩みとともに読み解き、いま俳句が大切にすべきことや未来への思いを語っています。

『戦国大名と読書』



歴史

小和田 哲男：著
柏書房：出
戦国大名の領国経営や合戦の方法、家臣育成、外交術などには、彼らが少年時代に読んだ書物が強い影響を与えている…。読書する戦国大名の姿にクローズアップ！！

『宇宙の始まりと終わりはなぜ同じなのか』



生命科学

R・ペンローズ：著
竹内 薫：訳 新潮社：出
宇宙はビッグバン・膨張・薄まりを繰り返して永遠に循環する…。ホーキング博士も一目置く天才物理学者がビッグバンの謎を解き明かす。

『ハンドミキサーでふわふわスポンジとさくさくタルト』



料理

荻田 尚子：著
主婦と生活社：出
ハンドミキサーで手軽に作れるお菓子を紹介。ロールケーキやクッキーなど、手軽にカワイイおやつにいかが？